

2026/04/17 (予定) 機能追加

伝票の登録や承認と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票したい 他 41 件

Ver.260331

業務連携

勘定奉行

伝票の登録や承認と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票したい

『勘定奉行クラウド』の[業務連携入力]メニューで仕訳伝票を確認して起票する手順を、省略できるようになりました。

これにより、債務伝票・支払伝票・相殺伝票の登録と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票できます。伝票の承認機能を使用している場合は、承認と同時に仕訳伝票が起票されます。

仕訳伝票を確認して起票する手順を省略するには、『勘定奉行クラウド』の[業務連携入力]メニューで対象データを選択し、 (設定) をクリックまたは[F3:設定] を押し、[基本] ページの「仕訳伝票の起票」設定を「〇〇仕訳の計上と同時に起票する」にします。

なお、ダッシュボードや [\[〇〇仕訳連携\]メニュー](#) から仕訳連携をしている場合は、仕訳伝票を確認して起票する手順だけを省略することもできます。

設定ごとの流れについては、目的から探す [「仕訳伝票を起票するまでの流れ」](#) をご参照ください。

対応メニュー

『勘定奉行クラウド』の[財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力]メニュー

ダッシュボード「本日までの仕訳未作成」カードの各伝票

[債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 購入債務仕訳連携]メニュー

[債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 支払仕訳連携]メニュー

[債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 相殺仕訳連携]メニュー (『債権奉行クラウド』をご利用の場合)

仕訳伝票作成で連携不要なマスター情報の削除に対応

『勘定奉行Smart/勘定奉行11』との連携で、連携不要になった未使用の補助科目などのマスター情報を削除できるようになりました。

対応メニュー

[債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票コード設定]メニュー

オリジナルフォーム

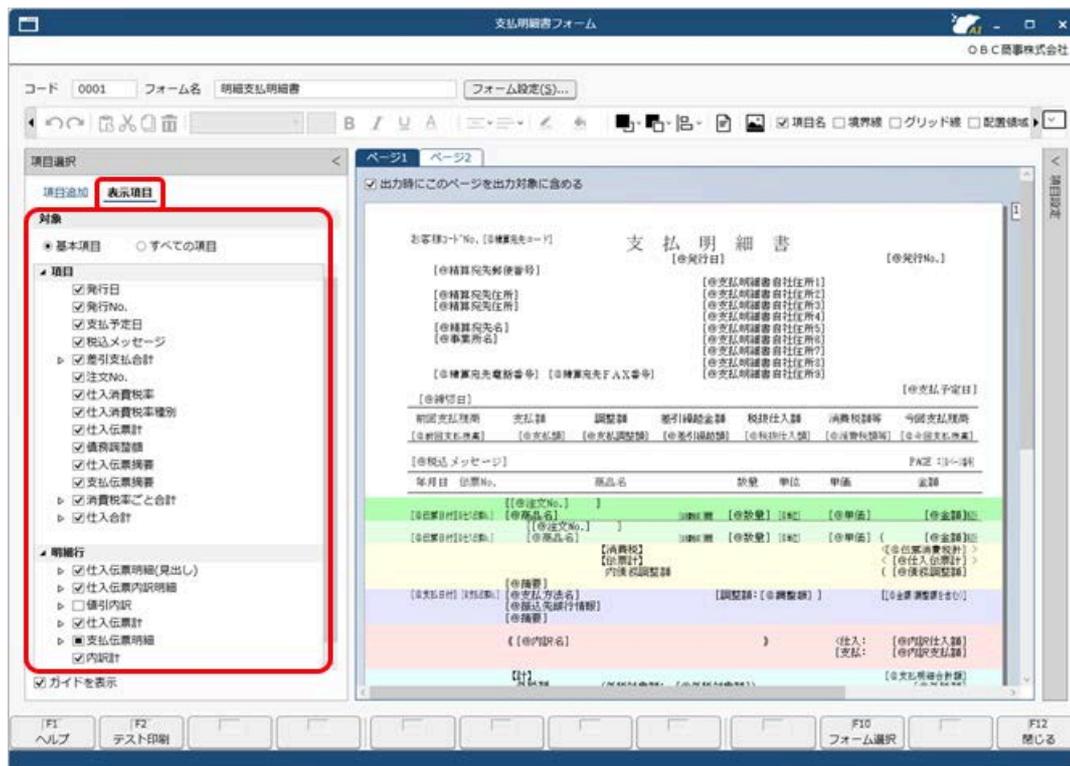
フォント・フォントサイズの初期値を設定したい

フォームの編集画面の[フォーム設定] ボタンをクリックし、[フォーム設定] 画面の[初期値] ページで、フォント (フォント・サイズ・色) ・線の書式 (色・太さ・塗りつぶし) の初期値を設定できるようになりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム] メニュー

フォームの編集画面の左側にある「表示項目」ページに、基本的な項目だけが表示されるようになりました。設定したい項目をスムーズに見つけ、項目のチェックを付け外しすることで、フォーム上のイメージを確認しながら出力する／しないを切り替えできます。



- 対象で「すべての項目」を選択し、すべての項目を表示することもできます。
- この変更に伴い、[\[オリジナルフォーム\]メニュー](#)のすべてのメニューで、フォームの編集画面のページ名が以下のとおり変更されました。
変更前 [配置済み項目] ページ 変更後 [表示項目] ページ

対応メニュー

メインメニュー右上の (設定) から [オリジナルフォーム - 支払明細書フォーム] メニュー

仕入先元帳フォームで、余白は罫線なしにしたい

仕入先元帳フォームに以下のテンプレートが追加されました。このテンプレートで作成したフォームで印刷することで、最終明細行で罫線の印字を止め、余白は罫線なしにできます。

- 単票元帳 A 4 罫線付 (最終明細まで)
- 単票元帳 A 4 罫線付 (伝票単位用、最終明細まで)

対応メニュー

メインメニュー右上の (設定) から以下のメニュー
[オリジナルフォーム - 仕入先元帳フォーム] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)
[オリジナルフォーム - 精算先元帳フォーム] メニュー

法人情報

『勘定奉行クラウド』の科目を複写する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』に登録されている科目を複写し、当サービスに登録できるようになりました。『勘定奉行クラウド』で科目を追加した場合に便利な機能です。

対応メニュー

『勘定奉行クラウド』から複写したマスターの仕訳コードを自動で登録する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』のマスターを複写して当サービスに登録した際に、仕訳コードが自動で登録されるようになりました。

対応メニュー

- [法人情報 - 規程 - 債務管理科目] メニュー
- [法人情報 - 規程 - 債務管理補助科目] メニュー
- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー
- [取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー / [取引先管理 - 精算先 - 仕入先] メニュー

マスターを「無効」扱いにしたい

各マスターに有効期間を追加しました。

伝票日付が有効期間外のマスターは、伝票への入力できません。また、伝票の検索画面にも表示されません。

なお、管理資料では、有効期間が集計期間と重複していない場合でも、繰越残数がある、または集計期間内に伝票が登録されているマスターは集計対象となります。

対応メニュー

- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー
- [法人情報 - 担当者 - 担当者] メニュー
- [取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー / [取引先管理 - 精算先 - 仕入先] メニュー
- [商品管理 - 商品 - 商品] メニュー

『奉行クラウド』のサービスごとに管理している部門やプロジェクトを一元管理したい

奉行V ERP

新たに、「部門」「プロジェクト」「工程/工種」を、『勘定奉行V ERPクラウド』『債権奉行V ERPクラウド』『債務奉行V ERPクラウド』などで統合して一元管理できるようになりました。

外部サービスも統合マスターとして管理できるようになります。

統合マスター管理の詳細は、目的から探す「[統合マスター管理とは](#)」をご参照ください。

「部門」については、『総務人事奉行クラウド』をご利用の場合、『総務人事奉行クラウド』の部門を基準に統合することもできます。

詳細は、目的から探す「『総務人事奉行クラウド』の部門を基準に統合する」をご参照ください。

追加メニュー

- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [部門 - 統合部門] メニュー
- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [部門 - 外部マスター管理[部門]] メニュー
- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [プロジェクト - 統合プロジェクト] メニュー
- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [プロジェクト - 外部マスター管理[プロジェクト]] メニュー
- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [工程 - 統合工程] メニュー
- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [工程 - 外部マスター管理[工程]] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー
- メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [統合マスター設定] メニュー

伝票の摘要の初期値を、代入項目を使って設定できるようにしたい

〔伝票摘要設定〕メニューが追加され、伝票の摘要や、電子記録債務などの備考の初期値をまとめて設定できるようになりました。

代入項目を使って、伝票や電子記録債務、精算先などの情報を摘要・備考に自動でセットできます。

摘要の初期値を設定することで、伝票などで毎回摘要を手入力する手間が省けます。

詳細は、メニューから探す「伝票摘要設定」をご参照ください。

追加メニュー

〔法人情報 - 摘要 - 伝票摘要設定〕メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 精算伝票〕メニュー（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー

〔債務管理 - ネットティング - 相殺伝票〕メニュー（『債権奉行クラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 電子記録債務〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 支払処理 - ファクタリング債務〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 支払処理 - 支払手形〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 支払処理 - 期日支払〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

上記の伝票が登録されるすべてのメニュー

取引先管理

〔ファクタリング会社〕メニュー／〔従業員〕メニューが独立

[〔精算先／仕入先〕メニュー](#)でファクタリング会社および社員（従業員）を登録していましたが、ファクタリング会社および従業員を登録するための〔ファクタリング会社〕メニュー／〔従業員〕メニューを新たに追加しました。

なお、これまで通り [〔精算先／仕入先〕メニュー](#)・[〔精算先／仕入先データ受入〕メニュー](#)からも、ファクタリング会社／従業員を登録できます。

また、表記が「社員」から「従業員」に変更されました。

追加メニュー

〔取引先管理 - 精算先 - ファクタリング会社〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔取引先管理 - 精算先 - 従業員〕メニュー（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

価格管理

〔価格計算式〕メニューが独立

Sシステム

奉行V ERP

[〔価格〕メニュー](#)の〔条件設定〕画面で設定していた価格計算式が、メニューとして独立しました。

追加メニュー

〔価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[仕入]〕メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

仕入管理

摘要明細だけの仕入伝票を登録したい

Sシステム

奉行V ERP

仕入区分が「4：摘要」の明細だけで、仕入伝票を登録できるようになりました。
登録した伝票は、支払明細書への出力や、仕入明細表・仕入先元帳などでの確認ができます。

対応メニュー

- [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー
- [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入明細表] メニュー
- [仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳] メニュー
- [仕入管理 - 電子帳簿保存 - 仕入伝票履歴] メニュー

帳票に雑仕入・雑費・運賃を集計したい

『蔵奉行クラウド』の仕入集計表などの帳票で、[条件設定] 画面の[出力] ページにある出力項目から「雑仕入額」「雑費額」「運賃額」を選択して出力できるようになりました。「雑仕入額」「雑費額」「運賃額」には、仕入区分「9：雑仕入」および、今回追加された仕入区分「91：雑費」「92：運賃」で登録した金額が集計されます。
また、総仕入高や純仕入高について、仕入区分「9：雑仕入」「91：雑費」「92：運賃」の金額を含めるかどうかを選択できます。

なお、仕入区分「9：雑仕入」「91：雑費」「92：運賃」の名称は、[\[運用設定\] メニュー](#)の[基本] ページの仕入調整で変更できます。「雑仕入」を集計する場合は、仕入調整1名称を「その他」から「雑仕入」に変更します。

対応メニュー

- [法人情報 - 規程 - 購入処理区分] メニュー
 - [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー
- メインメニュー右上の  (設定) から [運用設定] メニュー

一括でリレーする際にリレー元の伝票を一覧で確認したい

Sシステム

奉行V ERP

一括でリレーする際に、リレー元の伝票を一覧で確認できるようになりました。

また、画面右上の  (左右分割) や  (上下分割) をクリックすることで、画面の表示を上下分割表示と左右分割表示で切り替えられるようになりました。

対応メニュー

- [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

債務管理

仕入確定する際にリレー元の納品期日を仕入日付にしたい

Sシステム

奉行V ERP

『蔵奉行クラウド』で登録した発注伝票・納入予定から仕入伝票に一括でリレーする際に、仕入日付にリレー元の納品期日を複写できるようになりました。

[仕入確定 - 条件設定] 画面の[基本] ページで、仕入日付に「納品期日を複写する」を選択します。

対応メニュー

- [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

支払予定額が 0 の場合でも、支払予定を確定したい

当月の仕入がなく支払予定額が 0 の場合でも、精算締めをすることで支払予定を確定できるようになりました。

当月の支払予定を確定することで、[\[支払予定表\] メニュー](#)で「最新の支払予定にまとめる」にチェックを付けて集計する際に、前月までの未支払額を当月の支払予定額として集計できます。

例

未締め、翌20日払いの精算先

精算期間	仕入	支払予定
4/1 ~ 4/30	10,000 円	5/20 10,000 円
5/1 ~ 5/31	なし	6/20 0 円

4月の精算分が未支払の場合

5月の支払予定を確定するかによって、[\[支払予定表\]メニュー](#)で「最新の支払予定にまとめる」にチェックを付けて集計した際の支払予定日の表示が変わります。

- 確定しない場合 **5/20** 10,000 円 として集計されます。
- 確定した場合 **6/20** 10,000 円 として集計されます。

支払予定額が 0 の場合でも支払予定を確定する場合は、[精算締め - 条件設定] 画面の [詳細] ページで、「精算期間内に仕入明細がない精算宛先の支払予定」を「確定する」に設定して精算締めをします。

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 精算締め] メニュー

伝票や明細表で、精算締めや銀行振込などの処理状況を確認したい

伝票の精算締めや銀行振込などの伝票の処理状況が、[\[債務伝票\]メニュー](#)や[\[債務明細表\]メニュー](#)などにアイコンで表示されるようになりました。

また、[\[債務明細表\]メニュー](#)などの帳票では、未処理・処理中の伝票件数を確認し、次の処理をするメニューへ直接ジャンプすることもできます。

処理状況を一覧で確認できるため、処理が必要な伝票を見つけやすくなり、次の処理をスムーズに始められるようになりました。

- 債務伝票・支払伝票・仕入伝票

伝票の締めや銀行振込が済んでいる場合に、「締め済」・「振込済」アイコンが伝票の上部に表示されるようになりました。

また「転記済」・「支払済」アイコンが、仕入伝票でも表示されます。

行	種別	債引内百	債引先	債引科目	債引額	債引部門	債引科目	債引額
1	債引		株式会社3	仕入高	322,000	第二営業部	買掛金	354,200
2	仕入		第二営業部	課税	32,200		未払金	32,200

- 精算伝票（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）

伝票が銀行振込済みの場合に、「振込済」アイコンが表示されるようになりました。

- 債務明細表・支払一覧表・仕入明細表

「転記状況」・「精算締め状況」・「振込状況」項目を表示できるようになりました。

また、「支払状況」項目が、仕入明細表にも表示できます。

債引日付	債引No.	債引先	債引科目	債引額	債引部門	債引科目	債引額
年 4月 5日	000008	株式会社若手産業	仕入高	322,000	第二営業部	買掛金	354,200
年 4月 8日	000017	株式会社若手産業	課税	32,200		未払金	32,200
年 4月 12日	000011	株式会社茨城電機	仕入高	322,000	第二営業部	買掛金	354,200
年 4月 16日	000016	株式会社茨城電機	課税	32,200		未払金	32,200
年 4月 9日	000009	埼玉商事株式会社	仕入高	322,000	第二営業部	買掛金	354,200
年 4月 17日	000012	埼玉商事株式会社	課税	32,200		未払金	32,200

- 「〇〇状況」項目には、処理状況を示すアイコンが表示されます。
各項目は、[条件設定] 画面の [出力] ページの出力項目で追加します。
「転記状況」に表示されるアイコンについては、目的別記事「[仕訳伝票の転記状況（連携・作成の状況）を確認する](#)」をご参照ください。
 - 画面上の「〇〇状況」項目に応じて、未処理や処理中の件数が表示されます。
件数をクリックすると、次の処理をするメニューへジャンプできます。
 - [F6：伝票] をクリックすると、処理済の伝票を確認できるメニューが一覧で表示されますので、確認したい伝票のメニューへジャンプできます。
 - 項目の絞り込みやソートができます。
- 精算明細表（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
「転記状況」・「振込状況」項目を表示できるようになりました。
また、債務明細表と同様に、未処理や処理中の件数表示や、メニューへのジャンプ、項目の絞り込みやソートもできます。

対応メニュー

- [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
- [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入明細表] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
- [債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 精算伝票] メニュー（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
- [債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 精算明細表] メニュー（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
- [債務管理 - 精算処理 - 債務伝票] メニュー
- [債務管理 - 精算処理 - 債務明細表] メニュー
- [債務管理 - 支払処理 - 支払伝票] メニュー
- [債務管理 - 管理帳票 - 支払一覧表] メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から [汎用データ作成] メニューの以下のメニュー

- [仕入管理 - 仕入伝票データ作成] メニュー
- [債務管理 - 精算伝票データ作成] メニュー（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
- [債務管理 - 債務伝票データ作成] メニュー
- [債務管理 - 支払伝票データ作成] メニュー

支払明細書の仮発行で一度に 100 件以上発行したい

Sシステム

奉行V ERP

一度に 5,000 件まで仮発行できるようになりました。

対応メニュー

- [債務管理 - 精算処理 - 支払明細書] メニュー

親子請求の支払明細書で、内訳の出力順を仕入先コード順にしたい

Sシステム

奉行V ERP

[支払明細書 - 条件設定] 画面の [出力順] ページで、「内訳の出力順」を設定できるようになりました。

追加項目	選択肢
内訳の出力順	<ul style="list-style-type: none"> 精算宛先を優先して並べる 精算宛先（親）を先頭に出力します。（今までどおりの出力順） 仕入先コード順で並べる 親と子に関わらず、仕入先コード順に出力します。

対応メニュー

- [債務管理 - 精算処理 - 支払明細書] メニュー

【支払予定変更】メニューで、伝票単位で支払予定を表示したい

[支払予定変更 - 条件設定] 画面の [基本] ページで、支払予定の表示単位を「支払予定」「債務伝票」から選択できるようになりました。

表示単位が「債務伝票」の場合は、以下も可能となり、伝票単位での支払予定の確認・変更がスムーズに行えます。

- 債務日付・精算日付・伝票No.など、債務伝票の項目での絞り込み（〔支払予定変更 - 条件設定〕画面の〔基本〕ページで設定）
- 債務日付・精算日付・伝票No.など、債務伝票の項目の出力（〔支払予定変更 - 条件設定〕画面の〔項目選択〕ページで設定）
- 債務日付・精算日付・伝票No.での並べ替え（〔支払予定変更 - 条件設定〕画面の〔出力順〕ページで設定）

対応メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 支払予定変更〕メニュー

銀行振込後に出金明細を確認してから支払を計上したい

支払種別が「0：銀行振込」の支払方法で債務を支払う場合に、支払消込をしても債務残高は減らさずに、銀行振込FBデータを作成できるようになりました。

銀行振込後に、銀行から取得した出金明細と突合して支払伝票を確定することで、管理帳票の債務残高が減少し、仕訳が連携できるようになるため、厳密な債務管理が可能です。

出金明細を確認してから支払を計上する場合は、[〔債務管理規程〕メニュー](#)の〔債務管理〕ページで「債務支払の認識基準」を「出金確認時に認識する」に設定します。

詳細は、目的から探す「銀行振込後に出金確認をしてから支払を計上する」をご参照ください。

追加メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 銀行振込 - 出金確認〕メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 債務管理規程〕メニュー

〔法人情報 - 規程 - 債務管理科目〕メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債務管理 - 精算処理 - 債務残高確認書〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払消込〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 銀行振込 - 銀行振込〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払通知書〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 精算先元帳〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 購入債務一覧表〕メニュー（『勘定奉行クラウド〔建設業編〕』をご利用の場合）

〔債務管理 - 管理帳票 - 債務残高一覧表〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 前払金残高一覧表〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 仮払金残高一覧表〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 購入限度残高一覧表〕メニュー

『蔵奉行クラウド』の〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入債務残高一覧表〕メニュー

銀行振込データのリストを出力したい

[〔銀行振込〕メニュー](#)で銀行振込データをExcelに出力できるようになりました。

画面左上にある（クイックExcel）をクリックして出力します。

対応メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 銀行振込〕メニュー

〔銀行振込〕メニューで出金先コードを出力したい

〔銀行振込 - 条件設定〕画面の〔項目選択〕ページで、以下の項目を選択し、出力できるようになりました。

出金先コードは、「振込先コード」で出力できます。

銀行振込明細	振込先コード・振込先名・振込先事業所名・振込先略称・仕入／精算先区分1～5（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10）
支払伝票	仕入／精算先区分1～5（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10）

対応メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 銀行振込] メニュー

銀行振込データを精算先区分順に表示したい

[\[銀行振込\] メニュー](#)・[\[銀行振込一覧表\] メニュー](#)の画面上で、各項目の▣をクリックすると、その項目で画面上のデータをソート（並べ替え）・フィルター（絞り込み）できるようになりました。

画面上でデータをスムーズに確認できます。（画面上のソート・フィルターは、作成するFBデータやExcel出力には反映しません。）

また、[\[銀行振込一覧表\] メニュー](#)では、集計軸項目として以下が追加されました。

- 仕入／精算先区分1～5（出金先区分1～5）
（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10（出金先区分1～10））
- 仕入／精算先区分1～5（振込先区分1～5）
（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10（振込先区分1～10））

この変更に伴い、集計軸項目の名称が変更されました。

変更前 振込先口座 **変更後** 振込先

（集計軸の対象は今までと変更ありません。「振込先」を指定すると振込先口座で集約されます。）

また、集計軸項目に「振込先」を指定した場合は、集計軸の列に「口座名義」「振込先」のどちらか出力するかを選択できるようになりました。「振込先」を選択すると、仕入先略称／精算先略称を出力できます。

精算先元帳で出力する精算先が「すべて」の場合でも、締日区分で絞り込みをしたい

[精算先元帳 - 条件設定] 画面の [基本] ページで精算締日コードを指定した場合は、[詳細] ページの「出力する精算先」が「すべて」になっていても、[\[精算先\] メニュー](#)／[\[仕入先\] メニュー](#)の [精算] ページの精算締日で絞り込みできるようになりました。

対応メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[債務管理 - 管理帳票 - 精算先元帳] メニュー

[債務残高一覧表] メニューで、前払金額を考慮しない債務残高を確認したい

[\[債務残高一覧表\] メニュー](#)で、前払金を債務残高から減らすタイミングを設定できるようになりました。

今までは、前払金が発生したタイミングで繰越残高・債務残高から前払金額分が減っていましたが、前払金が充当されたタイミングで前払金額分を減らすこともできるようになりました。

これにより、前払金を考慮しない繰越残高・債務残高も確認できるようになり、より運用に合わせた残高管理ができるようになります。

確認するには、[債務残高一覧表 - 条件設定] 画面の [基本] ページで、前払金集計基準を充当時に設定します。

対応メニュー

[債務管理 - 管理帳票 - 債務残高一覧表] メニュー

[支払集計表] メニューに、支払種別ごとの支払額を確認できる出力項目を追加

[\[支払集計表\] メニュー](#)に、「支払額（銀行振込）」「支払額（電子記録債権）」などの項目が追加され、「総支払額」を各支払種別ごとに確認できるようになりました。

確認するには、[支払集計表 - 条件設定] 画面の [出力] ページの出力項目で「支払額（〇〇）」項目を選択します。

対応メニュー

[債務管理 - 管理帳票 - 支払集計表] メニュー

帳票に削除済みマスターを集計したくない

[条件設定] 画面の [基本] ページで、「金額が0の削除済みマスターを除いて集計する」にチェックを付けます。

対応メニュー

汎用データ作成

【汎用データ作成】メニューの条件設定をパターンとして登録したい

[データ作成条件設定] 画面の [パターン作成] ボタンをクリックすると、作成条件をパターンとして登録でき、次回以降も同じ条件で作成できます。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から以下のメニュー

[汎用データ作成 - 取引先管理 - 取引先グループデータ作成] メニュー

[汎用データ作成 - 商品管理 - 発行コードデータ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 商品管理 - 債務連携データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 取引単価データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 算出価格データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 債務管理 - 支払情報データ作成] メニュー

[汎用データ作成 - 債務管理 - 工事発注支払額データ作成] メニュー (『勘定奉行クラウド [建設業編]』をご利用の場合)

汎用データ受入

『蔵奉行Smart/蔵奉行11』の仕入先データの受け入れで支払方法を受け入れたい

Sシステム

奉行V ERP

支払種別と会社銀行 (銀行振込・手形・電子記録債権の場合) をもとに判断し、支払方法がセットされるようになりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から [汎用データ受入 - 取引先管理 - 精算先データ受入] メニュー /

[汎用データ受入 - 取引先管理 - 仕入先データ受入] メニュー

仕入伝票データ・債務伝票データの支払予定を受け入れる際に、支払方法や支払予定日だけを指定して受け入れたい

今までは、支払予定を受け入れる際は、支払方法・支払予定日・支払予定額の3つが必須でしたが、[\[精算先\]メニュー / \[仕入先\]メニュー](#)の [精算] ページで支払サイト1が設定されていれば、支払方法・支払予定日のいずれかだけで受け入れできるようになりました。

- [\[精算先\]メニュー / \[仕入先\]メニュー](#)で支払サイト2・支払サイト3が設定されている場合 (支払サイトを分割する設定の場合) は受け入れできません。(金額による条件分岐には対応しています。)
- [\[精算先\]メニュー / \[仕入先\]メニュー](#)の支払サイト1が未設定の場合は、支払方法・支払予定日が必須です。支払予定額の指定は不要になりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から以下のメニュー

[汎用データ受入 - 仕入管理 - 仕入伝票データ受入] メニュー

[汎用データ受入 - 債務管理 - 精算伝票データ受入] メニュー (『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ受入 - 債務管理 - 債務伝票データ受入] メニュー

受領請求書DXクラウド

受領請求書DX

Peppol受信フォームを作成したい

固定の項目に加えて、精算先から受け取りたい情報を追加したい場合に、Peppol受信フォームを作成できるようになりました。作成した受信フォームは、精算先に関連付けることで利用できます。

[\[デジタルインボイス受信\] メニュー](#)では、受信したPeppol受信フォームも確認できます。

作成方法は、目的から探す「Peppol受信フォームを作成する」をご参照ください。

追加メニュー

[取引先管理 - 受領請求書設定 - Peppol受信フォーム] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[取引先管理 - 精算先 - 精算先] メニュー

[取引先管理 - 精算先 - 仕入先] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - デジタルインボイス受信] メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から以下のメニュー

[汎用データ受入 - 取引先管理 - 精算先データ受入] メニュー

[汎用データ受入 - 取引先管理 - 仕入先データ受入] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

証憑収集アプリ (Webアプリ) で、部門や購入科目などの精算伝票の明細項目を入力してアップロードしたい

証憑収集アプリ (Webアプリ) の請求書・領収書について、証憑項目に加えて、部門や購入科目などの明細項目も入力して、アップロードできるようになりました。

アップロードした証憑は、Webアプリで承認します。なお、PCアプリや当サービスのダッシュボード「未承認状況」カードから承認する場合は、明細項目の内容は確認できません。

[\[運用設定\] メニュー](#)の [証憑収集アプリ] ページで、Webアプリ明細を「使用する」にし、使用する明細項目にチェックを付けます。

対応メニュー

メインメニュー右上の (設定) から [運用設定] メニュー

Webアプリ [証憑アップロード - 請求書] メニュー

Webアプリ [証憑アップロード - 領収書] メニュー

Webアプリ [承認 - 承認] メニュー

[証憑アップロード] メニューで、精算伝票の入力機能が向上

- リスト上で、「債務部門」などの項目を入力したい
[精算伝票] 画面へジャンプしなくても、リスト上で「債務部門」などの項目を入力できるようになりました。
[F10: 条件設定] を押し、[証憑アップロード - 条件設定] 画面の [項目選択] ページで、精算伝票で入力したい項目を選択すると、画面に表示されます。
- リスト上で、複数の科目 (明細行) を入力したい
リストの明細行を選択し、画面左下の (切替) をクリックしてから、[F7: 行追加] または [F8: 行削除] を押し、行の追加や削除ができます。
また、次のショートカットキーでも操作できます。
 - 行追加: [Ctrl] + [+] キー

- 行削除：[Ctrl] + [-] キー

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - デジタルインボイス受信] メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 証憑アップロード] メニュー

精算伝票の入力中に、精算宛先の過去の伝票を複写して登録したい

精算伝票で、部門別やプロジェクト別の入力など、入力に手間がかかる場合に、精算宛先の過去の伝票を複写して登録できるようになりました。

詳細は、目的から探す「精算宛先の過去の伝票を複写する（証憑アップロード）」「精算宛先の過去の伝票を複写する（精算伝票）」をご参照ください。

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 証憑アップロード] メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 精算伝票] メニュー

証憑項目の「金額」と伝票の「精算額」の差額チェック

証憑をアップロードして精算伝票を登録する際に、証憑項目の「金額」と伝票の「精算額」に差額が発生した場合、以下のようにチェックされるようになりました。

- [\[証憑アップロード\] メニュー](#)では、「警告」列に「証憑項目の金額と伝票の精算額に差額があります。」というメッセージが表示されます。
- [\[精算伝票\] メニュー](#)では、鑑の「精算額」の欄外に、差額が表示されます。

税抜金額	消費税額	精算額	源泉予定額
500,000	50,000	550,000	0
100,000	10,000	110,000	

警告や差額が表示されても伝票の登録はできますが、差額を確認することでミスを防ぎやすくなります。

また、「精算額」に加えて、「税抜金額」や「消費税額」もチェックされます。

差額が発生している状態で複数の明細行を入力する場合は、金額変更時や新しく入力する明細行の金額欄に差額が自動で表示され、入力をサポートします。

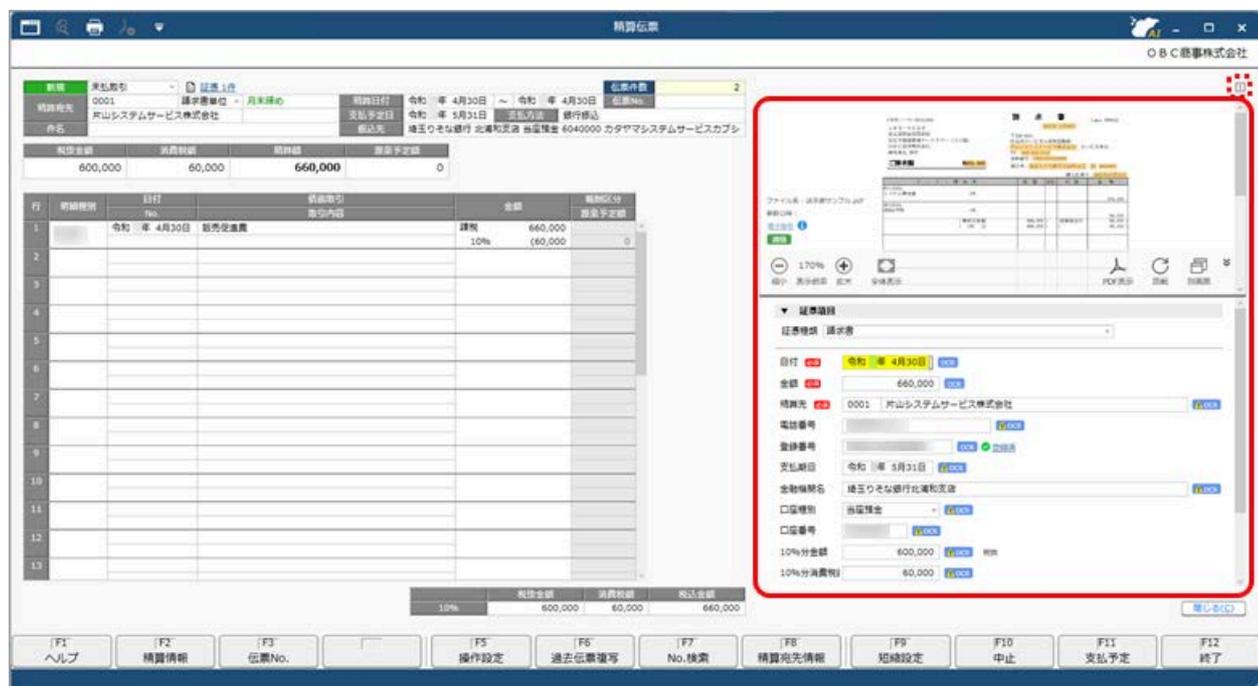
対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 証憑アップロード] メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 精算伝票] メニュー

[精算伝票] メニューの、証憑と証憑項目の上下分割表示

証憑を添付した後の画面で、証憑と証憑項目を上下に分割して表示できるようになりました。



証憑の画面右上の (上下分割) ボタン、 (左右分割) ボタンを使用すると、表示方法を切り替えられます。

- (上下分割) ボタンを押すと上下に分割できます。
- (左右分割) ボタンを押すと左右に分割できます。

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 受領請求書 - 精算伝票] メニュー

その他

メニュー構成・メニュー名を変更

証憑収集方法

[受領請求書](#)

変更前	変更後
[法人情報] - [規程] - [証憑設定] - [証憑収集方法] メニュー	[取引先管理] - [受領請求書設定] - [証憑収集方法] メニュー

単価・価格

[Sシステム](#)

[奉行V ERP](#)

変更前	変更後
[商品管理] - [価格] - [単価] メニュー - [価格] メニュー	[価格管理] - [取引単価] - [取引単価] メニュー - [算出価格] メニュー

〇〇伝票履歴

変更前	変更後
<p>[仕入管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [管理帳票] - [仕入伝票履歴] メニュー 	<p>[仕入管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [電子帳簿保存] - [仕入伝票履歴] メニュー
<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [管理帳票] - [債務伝票履歴] メニュー 	<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [電子帳簿保存] - [債務伝票履歴] メニュー
<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [管理帳票] - [支払伝票履歴] メニュー 	<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [電子帳簿保存] - [支払伝票履歴] メニュー

デジタルインボイス受信・証憑アップロード・精算伝票・精算明細表

受領請求書

変更前	変更後
<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [精算処理] - [受領請求書] - [デジタルインボイス受信] メニュー - [証憑アップロード] メニュー - [精算伝票] メニュー - [精算明細表] メニュー 	<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> - [受領請求書] - [デジタルインボイス受信] メニュー - [証憑アップロード] メニュー - [精算伝票] メニュー - [精算明細表] メニュー

メニューを選択する際の視認性と操作性を向上

メインメニューで第1階層を選択したときの、第2階層のメニューの展開方向が変わりました。

第2階層が右側に表示されるようになり、第2階層を見ながら第1階層のメニューを選択できるようになりました。

なお、サービス起動後初回は、第1階層のメニューを選択すると前回最後に起動していたメニューまで展開され、作業していたメニューをスムーズに起動できるようになりました。

変更前	変更後
 <p>第2階層が「下」に展開</p>	 <p>第2階層が「横」に展開</p>

(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

文字と背景色のコントラスト比とフォーカス表現を調整

視認性向上のため、文字と背景色のコントラスト比を調整しました。また、フォーカス表現を破線から実線に変更しました。

元帳 - パターン	
パターン名	
月末確認用 (山田)	
交通費確認用	
月末確認用	
月初確認用 (売掛/買掛)	

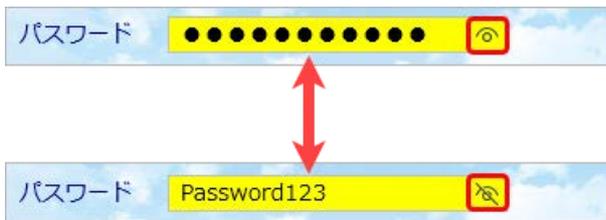
貸借対照表 損益計算書		2025年 4月	2025年 5月
コード	科目名	発生	発生
100	現金	0	0
101	小口現金	0	0
A1220	現金計	0	0

(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

パスワード可視化機能とCapsLock判定機能を追加

パスワードを入力できるすべての画面に、一律、以下の機能を追加しました。

- パスワードを表示できるようになりました。
目のアイコンをクリックすると、パスワードの表示/非表示を切り替えられます。



- [CapsLock] キーがオンになっていることに気づけるよう、『管理ポータル』などのWebアプリでも、メッセージが表示されるようになりました。



内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。